

2018年3月期第2四半期 決算説明会

2017年11月10日



JARMeC
Japan Animal Referral Medical Center
日本動物高度医療センター

株式会社日本動物高度医療センター

東証マザーズ：6039

1. 2018年3月期第2四半期 決算ハイライト

2018年3月期第2四半期 決算のポイント

- ◆ 2018年3月期第2四半期は前年同期比**5.4%**の増収
前年同期は人件費増加により利益率が減少したが、
上期の営業利益率は**14.9%**と大きく伸長

営業利益：+42.5% 経常利益：+35.6%

- ◆ 診療件数・手術件数は堅調に推移
活発な学会報告、セミナー開催等による紹介症例数の増加が寄与

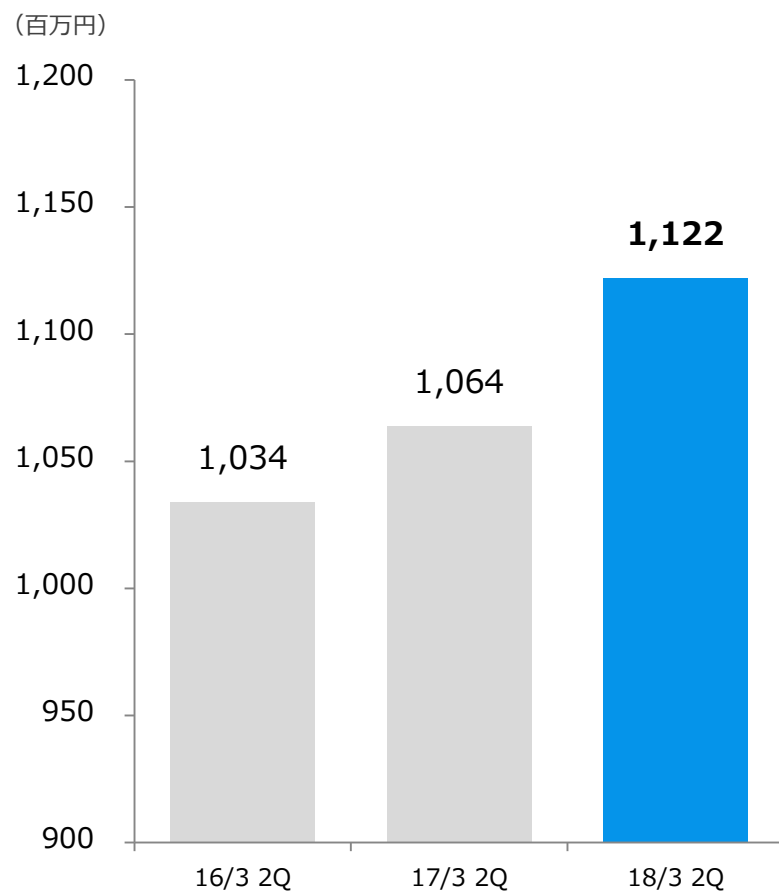
2018年3月期第2四半期 決算ハイライト

(百万円)

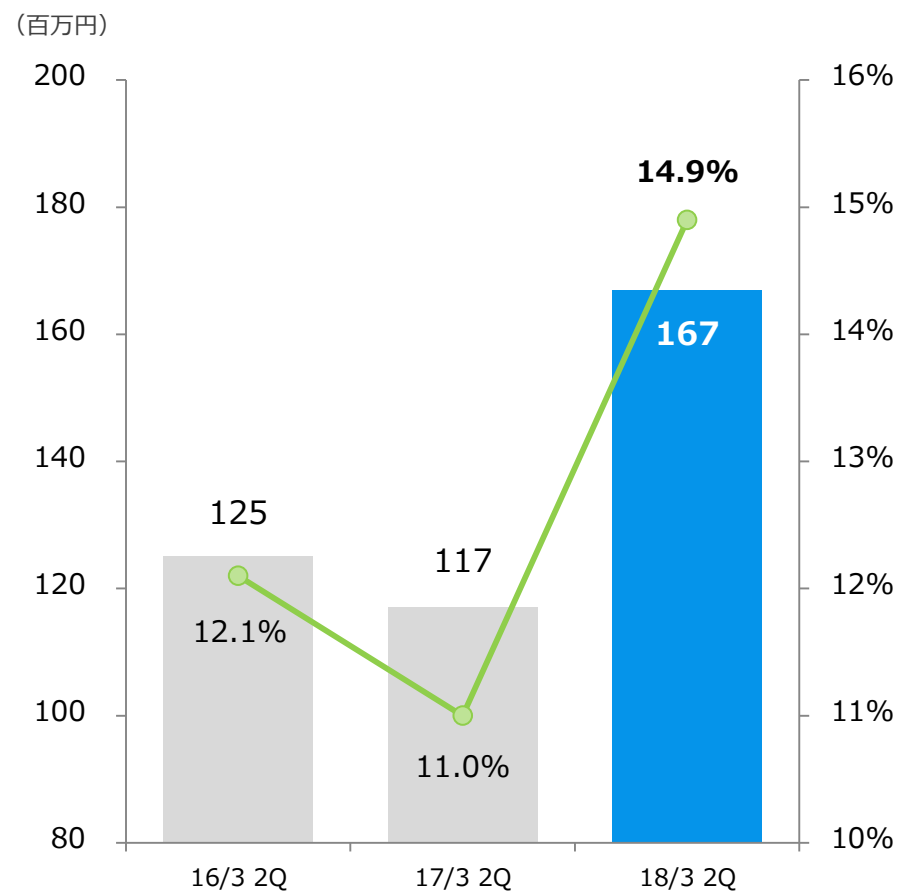
	2017年3月期2Q		2018年3月期2Q		
	実績	構成比(%)	実績	構成比(%)	前年同期比(%)
売上高	1,064	100.0	1,122	100.0	105.4
営業利益	117	11.0	167	14.9	142.5
経常利益	110	10.3	149	13.3	135.6
親会社株式に 帰属する 四半期純利益	91	8.6	108	9.6	118.7
1株当たり 四半期純利益	39.19	-	46.21	-	-

業績推移 ①

売上高

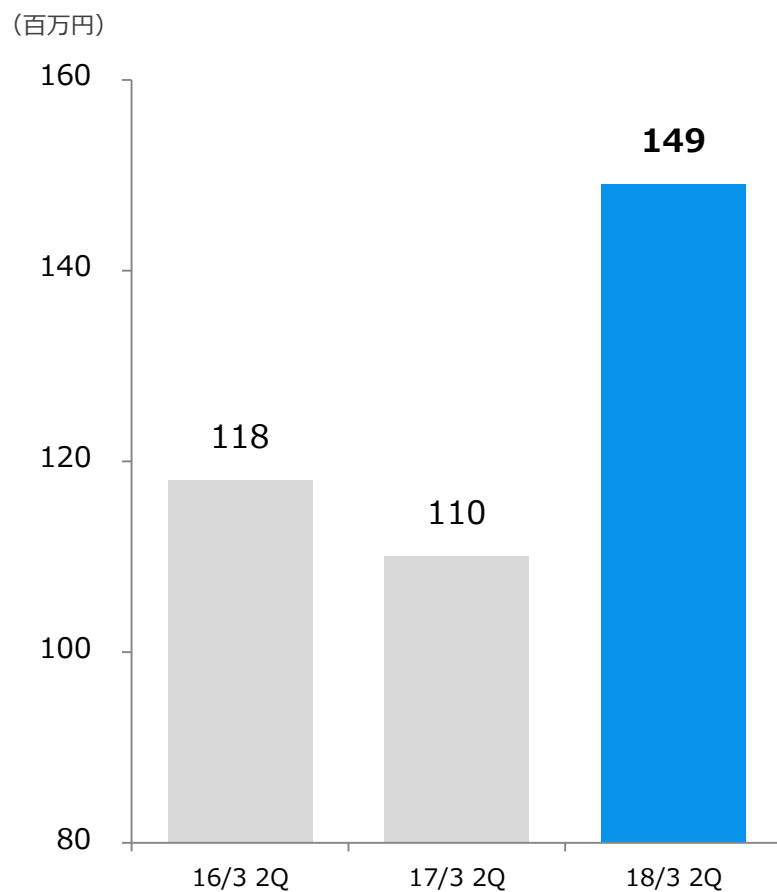


営業利益・営業利益率

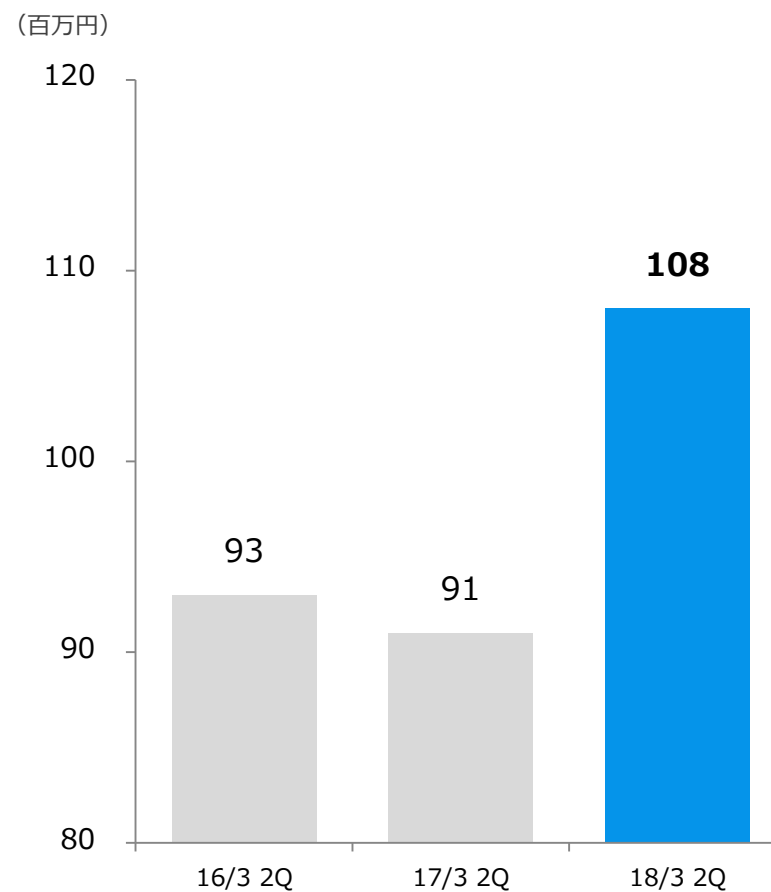


業績推移 ②

経常利益



四半期純利益



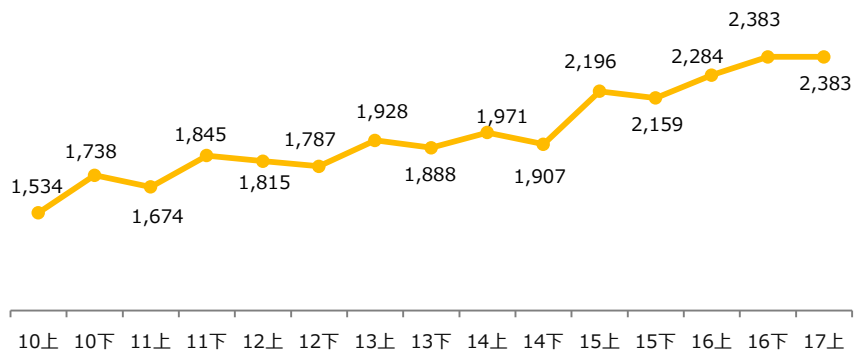
2018年3月期第2四半期 決算サマリー

(百万円)

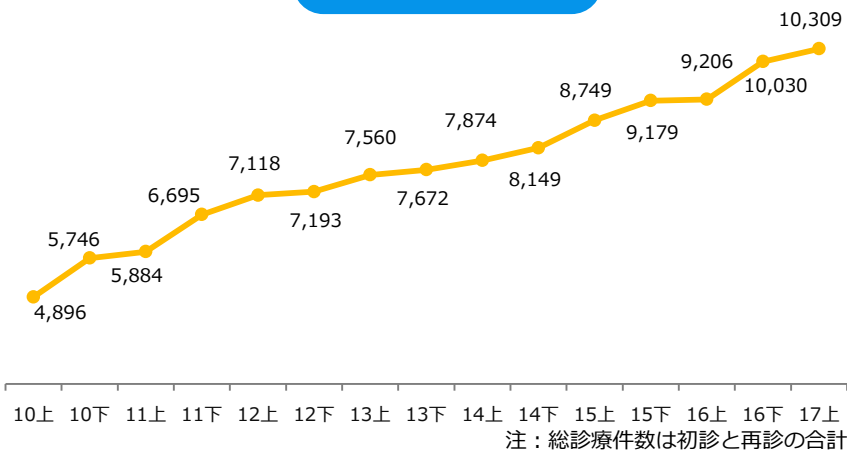
		2017年 3月期 2Q	2018年 3月期 2Q	増減	増減率 (%)	備考
売上高	JARMeC	825	889	64	7.8	初診数2,383件(+4.3%)、総診療数7,926件(+14.5%)、手術数791件(+5.3%)
	Camic	231	232	1	0.5	検査件数2,567件(△1.5%)
	合計	1,064	1,122	98	5.4	
売上原価+販売管理費		946	954	7	0.8	
	人件費	453	475	22	4.9	新規開院準備で人員数増加
	減価償却費	108	80	△28	△26.3	
	租税公課	23	39	15	67.5	
営業利益		117	167	49	42.5	
経常利益		110	149	39	35.6	
親会社株主に帰属する 四半期純利益		91	108	17	18.7	

各件数推移

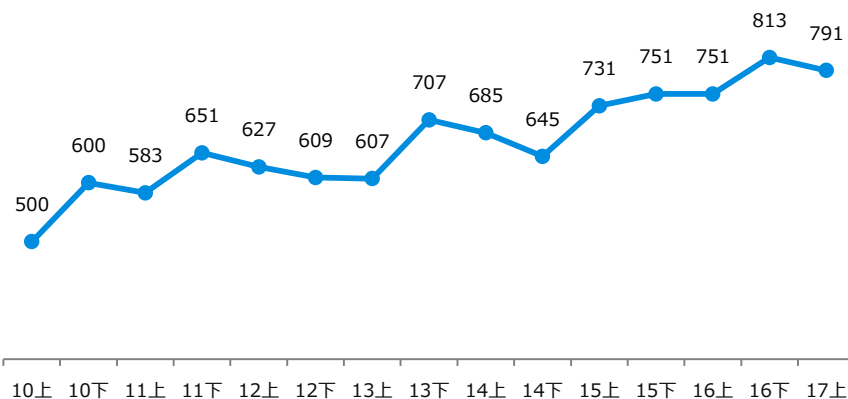
初診件数の推移



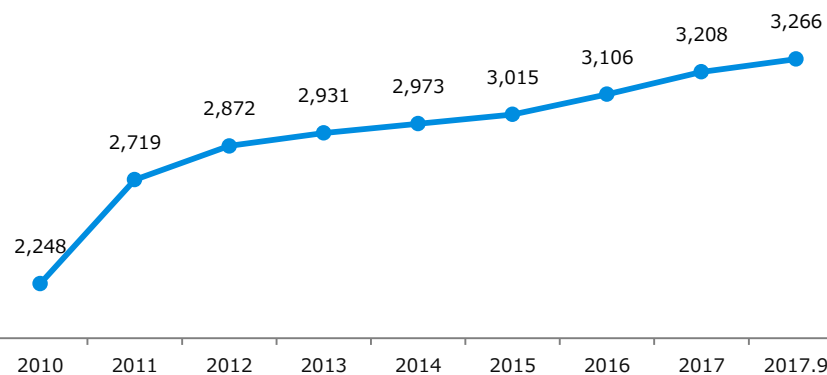
総診療件数の推移



手術件数の推移



連携病院数の推移



注：各年3月

連結貸借対照表

	2017年3月期末		2018年3月期2Q				
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減 (百万円)	増減率 (%)	主な増加/減少要因
流動資産	1,101	21.5	1,150	21.3	49	4.5	
固定資産	4,023	78.5	4,263	78.7	239	5.9	東京病院建物工事等による有形固定資産の増加 譲渡制限付株式発行等による投資その他の資産の増加
資産合計	5,125	100.0	5,414	100.0	288	5.6	
流動負債	1,727	44.3	680	17.0	▲ 1,047	▲ 39.3	
固定負債	2,169	55.7	3,317	83.0	1,147	52.9	シンジケートローン借換えの伴う短期借入金および1年内返済予定の長期借入金の減少、長期借入金の増加
負債合計	3,897	76.0	3,997	73.8	100	2.6	
純資産合計	1,228	24.0	1,416	26.2	188	15.3	新株予約権行使および譲渡制限付株式発行による増資
負債・純資産合計	5,125	100.0	5,414	100.0	288	5.6	

キャッシュ・フローの状況

(百万円)

	2018年 3月期 2Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	227
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 236
財務活動によるキャッシュ・フロー	53
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の増減額	45
現金及び現金同等物の期首残高	758
現金及び現金同等物の四半期末残高	803

■ 主な営業活動によるキャッシュ・フロー

- ・税金等調整前四半期純利益 140百万円
- ・減価償却費 80百万円

■ 主な投資活動によるキャッシュ・フロー

- ・有形固定資産の取得による支出 231百万円

■ 主な財務活動によるキャッシュ・フロー

- ・長期借入れによる収入 2,911百万円
- ・短期借入金の返済による支出 650百万円
- ・長期借入金の返済による支出 2,217百万円

通期業績予想

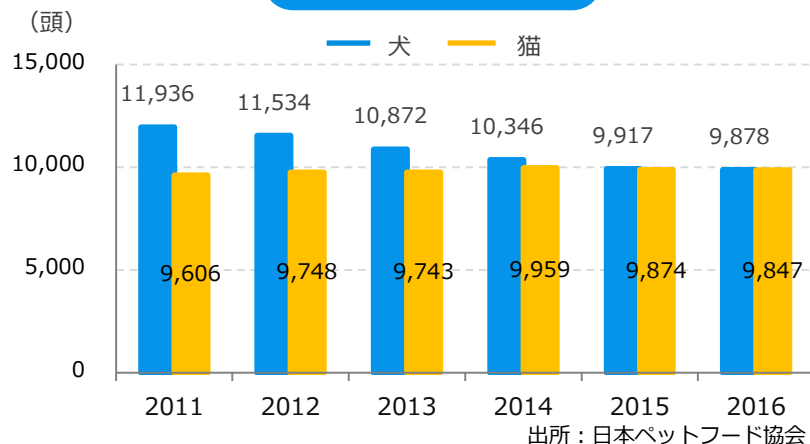
(百万円)

	2018年3月期2Q			2018年3月期	
	1Q	2Q	2Q 累計実績	予想	進捗率
売上高	552	570	1,122	2,360	47.5%
営業利益	73	94	167	325	51.4%
経常利益	54	95	149	310	48.1%
親会社株式に帰属する 当期純利益	32	76	108	260	41.5%
1株当たり 当期純利益	13.85	32.36	46.21	111.08	-

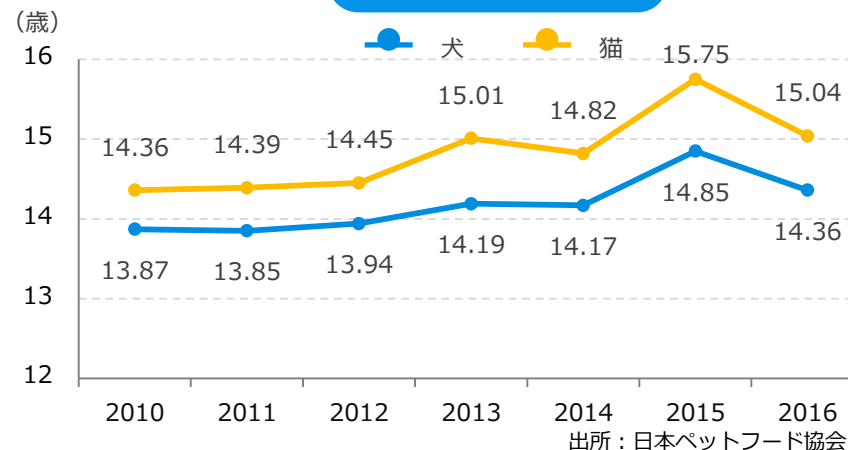
2.市場動向と成長戦略

動物医療業界を取り巻く環境

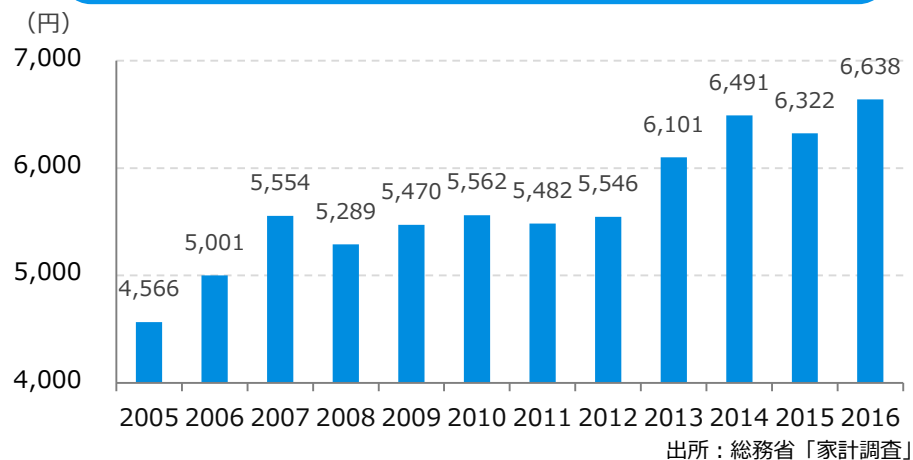
犬・猫の飼育頭数



犬・猫の平均寿命



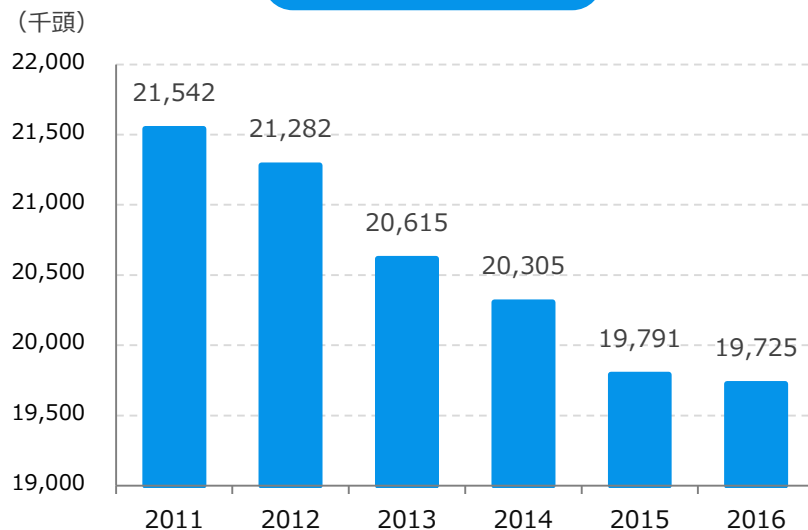
1世帯当たりの動物病院代の年間支出額 (2人以上の世帯)



- 犬の飼育頭数は減少傾向、猫の飼育頭数は横ばい
- 平均寿命は昨年比で減少
- 医療にかかる費用は2005年比で約1.5倍

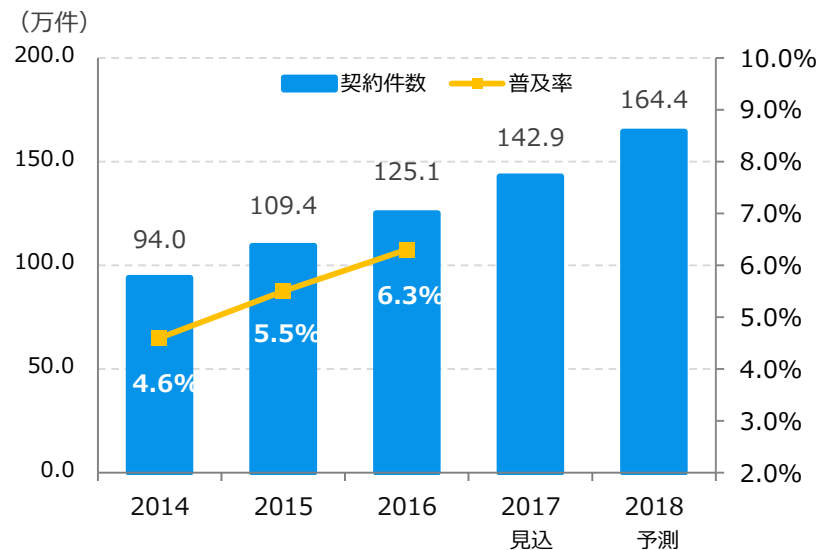
ペット保険の成長性

犬猫飼育頭数



出所：日本ペットフード協会

ペット保険契約件数



出所：富士経済 2017ペット関連市場マーケティング総覧

犬猫の飼育頭数は減少傾向も、ペット保険の契約件数は上昇が続く。
ペット保険の普及率も上昇傾向だが6%程度に留まっており、
将来的に更なる普及が見込まれる。

1. 拠点の拡大

全国主要都市に施設の展開を積極的に推進

- ▶ 第3の二次診療施設として、東京病院（東京都足立区）を2018年1月に開業予定。

➡ 首都圏東部・北部からの紹介受入強化へ

- ▶ 大阪病院（仮称）は、2019年春以降に開業予定。

➡ 東名阪の拠点をもとに、連携病院の拡大加速へ

2. 対外活動の強化

学会発表、セミナー開催などの学術活動を推進継続

地域の動物病院との連携を積極的に推進

➡ 初診数増加へ（2017年3月期比8%を目標）

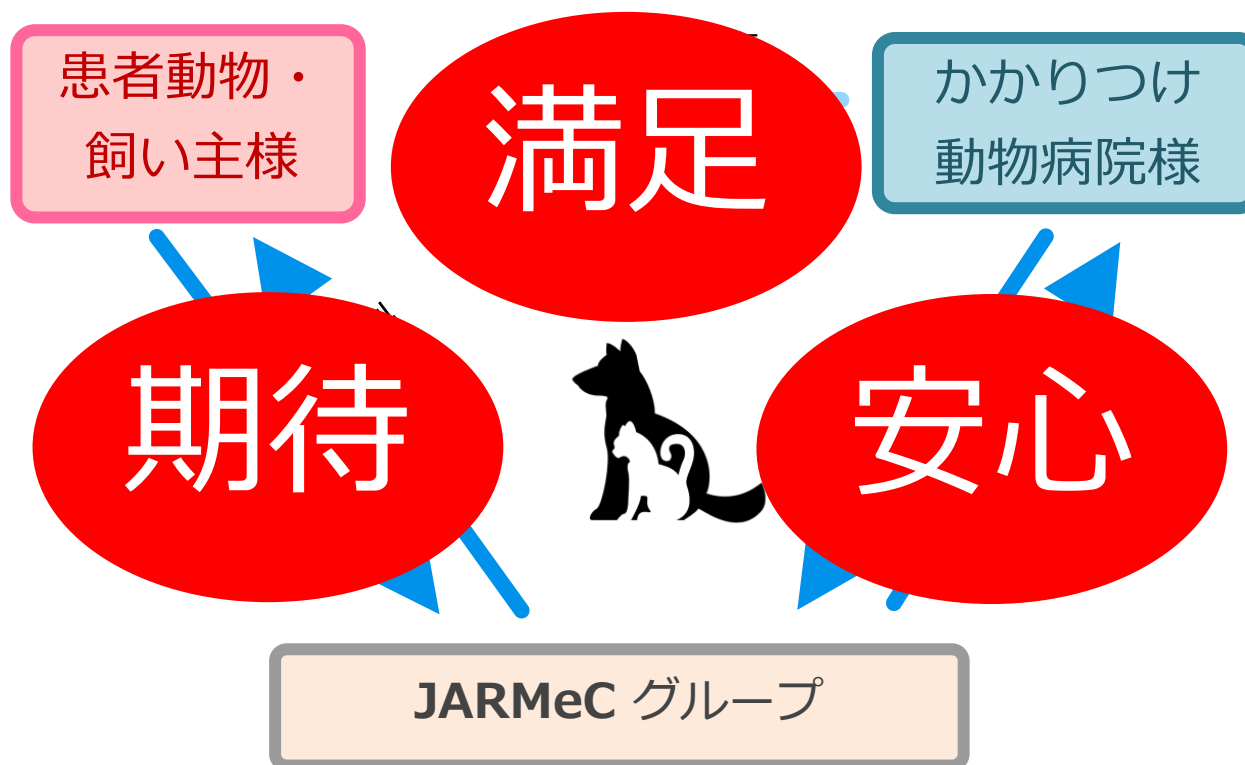
3. 人材確保

大学・専門学校・各種団体との関係性強化、人脈形成に尽力
採用活動を積極的に実施

4. 新規事業の拡大継続

動物医療において診療以外の領域で患者動物・飼い主・一次診療施設をサポートする
新規事業挑戦を継続

➡ 動物医療業界のトータルプラットフォーム企業へ



当社は「ペットに家族と同じように高度な医療を受けさせたい」という飼い主様の幅広いニーズに応えるべく、かかりつけ動物病院様が**安心**して紹介できる、患者動物・飼い主様が**期待**して受診できる、その結果皆様と共に我々も**満足**できる動物医療を目指すことで、広く社会に貢献して参ります。

3.APPENDIX

会社概要



会社名	株式会社日本動物高度医療センター Japan Animal Referral Medical Center: JARMeC
主要な事業内容	犬・猫向けの高度医療を行う二次診療専門動物病院
所在地	川崎本院：〒213-0032 神奈川県川崎市高津区久地2-5-8 名古屋分院：〒468-0003 愛知県名古屋市天白区鴻の巣1-602
代表取締役社長	平尾 秀博
設立年月日	2005年9月26日 (川崎本院開業 2007年6月1日) (名古屋分院開業 2011年12月1日)
資本金	372,875,660円
従業員数	177名 (非常勤18名を含む) (2017年9月現在) ※グループ全体
連携病院数	3,266病院 (2017年9月末日現在)

JARMeCは、動物医療界において、

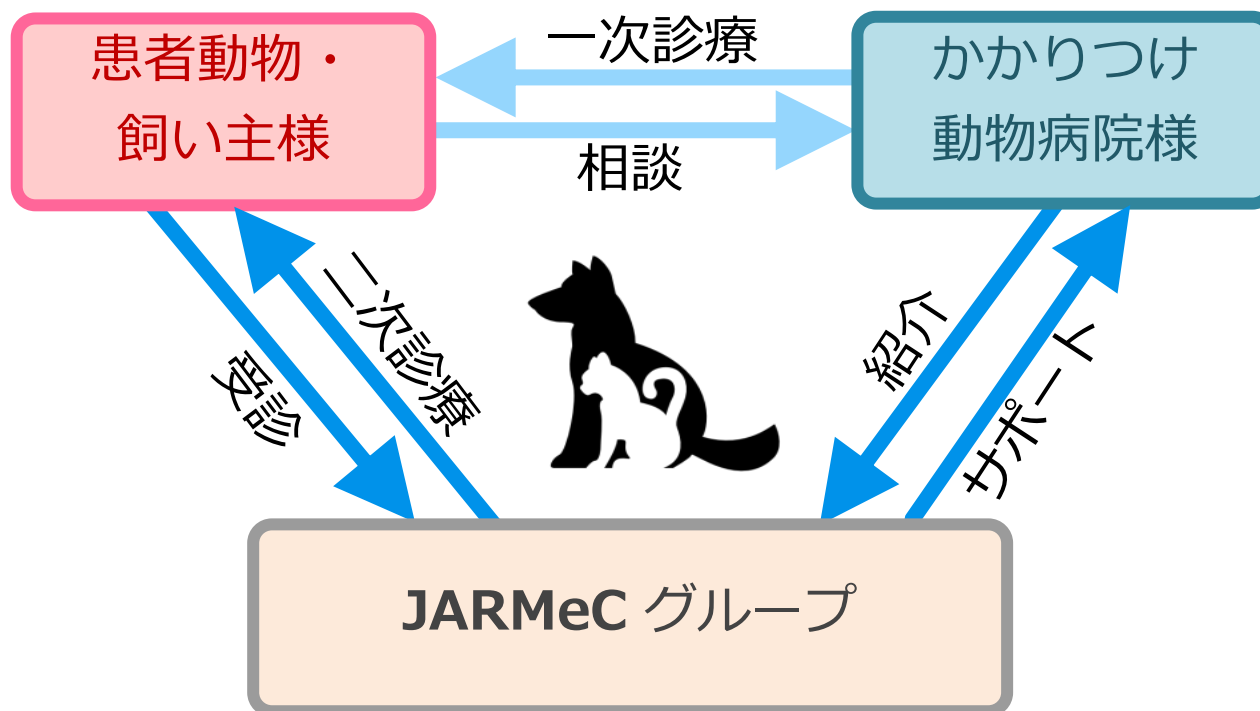
「臨床や教育現場で活躍する人材教育」の環境を整え、

「動物医療技術の向上を担う臨床研究」にチャレンジし、

教育、臨床研究の実践の場所としての
「高度医療（二次診療）」を地域の連携病院と協力して提供する

以上により広く社会に貢献することを理念としています。

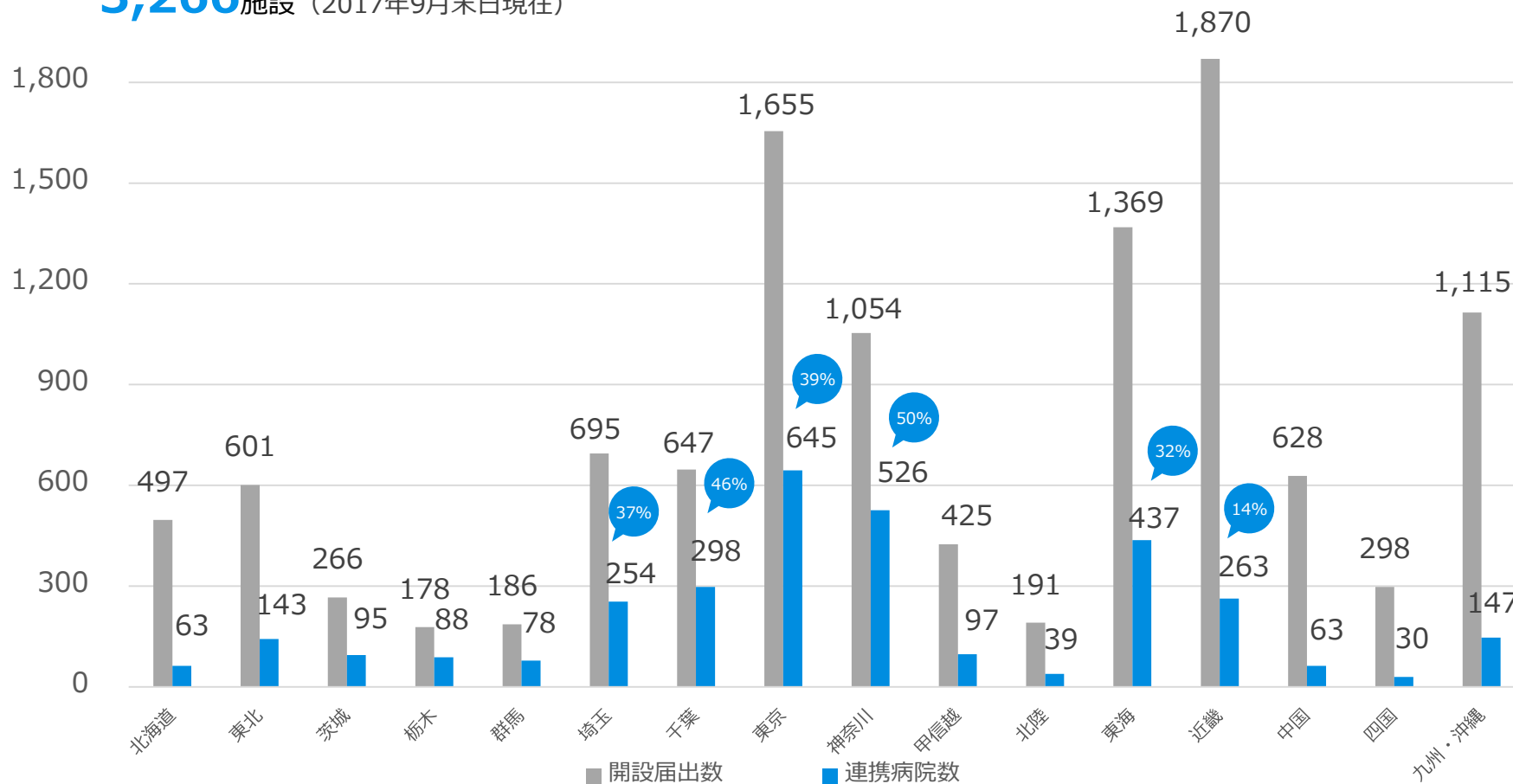
JARMeCグループ事業概念



JARMeCはかかりつけ動物病院様と連携して充実した動物医療体制を実現。
画像診断サービスを提供する株式会社キャミック
と共にJARMeCグループとして動物医療の発展に繋がる事業を展開。

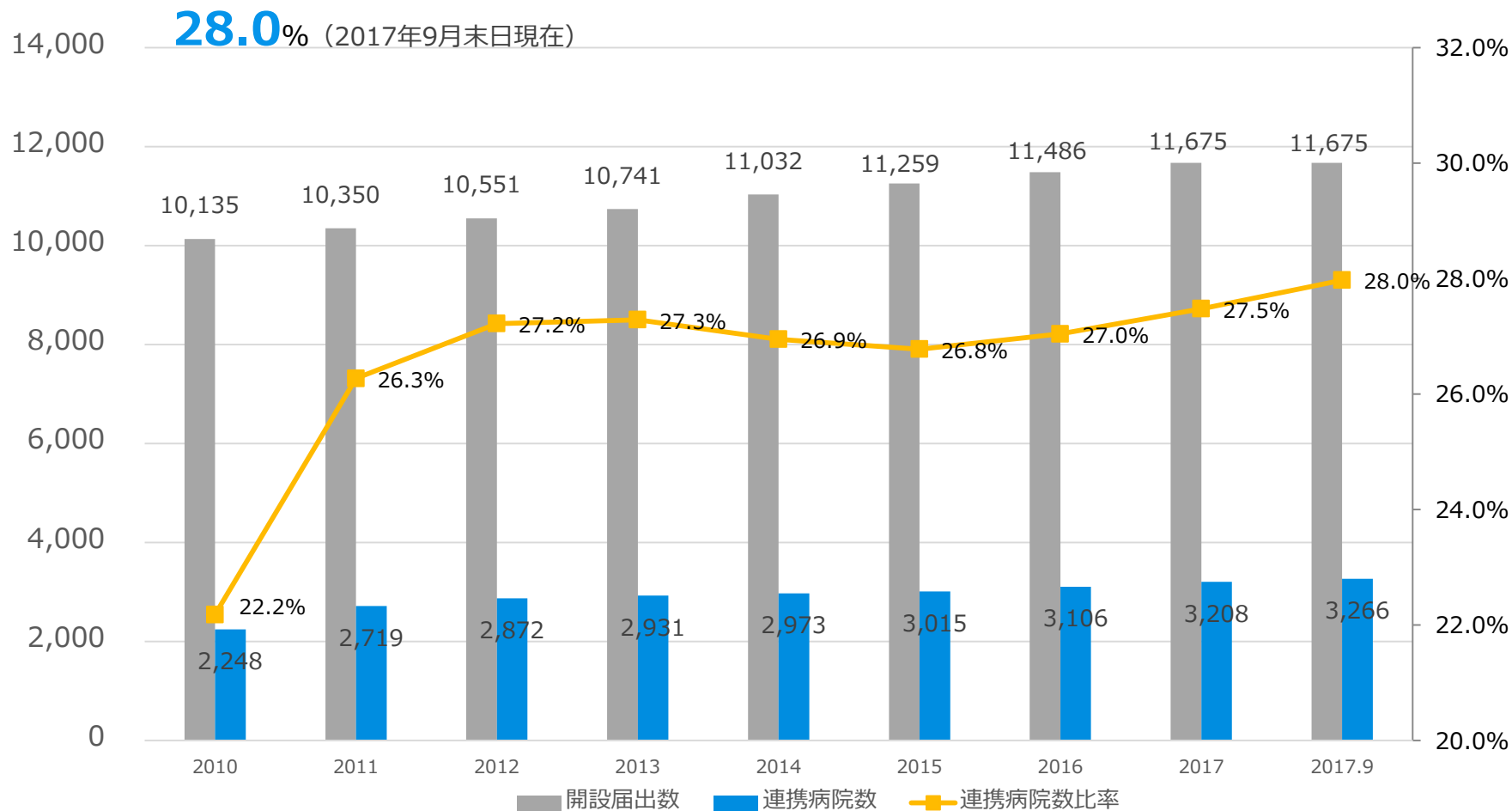
地域別連携病院数

3,266施設 (2017年9月末日現在)



出所：地域別の開設届出数は農林水産省より、2016年12月末時点の小動物診療施設の軒数。
連携病院数は2017年9月末時点の軒数。

連携病院数比率推移



出所：開設届出数は農林水産省より前年12月末時点の小動物診療施設の軒数。
 連携病院数は各年3月末時点の軒数。
 2017.9の開設届出数は2016年12月末時点。

- 本資料は、株式会社日本動物高度医療センターの事業及び業界動向についての株式会社日本動物高度医療センターによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた 将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望に関する表明はさまざまナリスクや不確実性がつきまとっています。
- 既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。
- 株式会社日本動物高度医療センターは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。
- 本資料における将来の展望に関する表明は、2017年11月10日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社日本動物高度医療センターにより2017年11月10日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。